



平成31年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成31年2月12日

上場会社名 川西倉庫株式会社

上場取引所 東

コード番号 9322 URL <http://www.kawanishi.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 若松 康裕

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 池側 栄治

TEL 078-671-7931

四半期報告書提出予定日 平成31年2月13日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年3月期第3四半期の連結業績(平成30年4月1日～平成30年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第3四半期	17,637	5.0	570	12.2	587	1.7	277	58.9
30年3月期第3四半期	16,804	0.5	508	6.4	577	17.6	675	89.1

(注) 包括利益 31年3月期第3四半期 75百万円 (%) 30年3月期第3四半期 773百万円 (178.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年3月期第3四半期	36.51	
30年3月期第3四半期	88.83	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
31年3月期第3四半期	30,694	17,392	53.6
30年3月期	28,335	17,576	58.3

(参考) 自己資本 31年3月期第3四半期 16,445百万円 30年3月期 16,513百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期		8.00		8.00	16.00
31年3月期		6.00			
31年3月期(予想)				6.00	12.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成31年 3月期の連結業績予想(平成30年 4月 1日～平成31年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	23,200	3.8	650	10.8	670	1.9	440	9.7	57.83

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	31年3月期3Q	8,258,322 株	30年3月期	8,258,322 株
期末自己株式数	31年3月期3Q	650,405 株	30年3月期	650,292 株
期中平均株式数(四半期累計)	31年3月期3Q	7,607,951 株	30年3月期3Q	7,606,674 株

(注)自己株式数については、「株式給付信託(BBT)」制度に係る信託財産として、資産管理サービス信託銀行株式会社(信託E口)が所有している当社株式を含めて記載しております。

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.02「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(追加情報)	7
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、自然災害の影響も収束する中、個人消費の持ち直し、企業の経営成績や雇用情勢が改善するなど、引き続き緩やかな回復基調で推移いたしました。世界経済においても緩やかな回復基調で推移いたしましたが、貿易摩擦の深刻化や中国での消費の減速など、景気への影響も懸念される状況となっております。

このような状況のもと、当社グループは、中期経営計画『Vision2018・明日に向かって』で掲げる、流通加工等の物流サービスの強化等による既存事業の拡大・強化、新倉庫建設やASEAN地区への投資等の成長に向けた戦略的投資を行うなど、経営基盤の安定、強化に積極的に取り組んでまいりました。

当第3四半期連結累計期間においては、コーヒー豆や食料品の取扱いおよび神戸港での港湾運送取扱業務が堅調に推移したことにより、営業収益および営業利益は前年同期を上回る結果となりました。経常利益についても、前年同期に大幅に増加した受取配当金が減少しましたが、営業利益の増加により前年同期を上回りました。親会社株主に帰属する四半期純利益については、前年同期に発生した投資有価証券売却益等の特別利益が減少したこと、大阪北部地震や台風21号等の影響による災害損失を計上したことにより、前年同期を下回る結果となりました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の営業収益は前年同期比5.0%増加の17,637百万円、営業利益は前年同期比12.2%増加の570百万円、経常利益は前年同期比1.7%増加の587百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期比58.9%減少の277百万円となりました。

なお、大阪北部地震、台風21号等の影響による災害損失につきましては、平成30年11月9日に公表いたしました「特別損失の計上に関するお知らせ」のとおり当第2四半期連結累計期間では81百万円でありましたが、当第3四半期連結累計期間では128百万円となっております。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

①国内物流事業

国内物流事業においては、倉庫業務全体では取扱いが増加し、神戸港での港湾運送取扱業務等も堅調に推移した結果、営業収益は前年同期を上回りました。セグメント利益についても、営業倉庫の大型修繕等の経費増加要因がありましたが、貨物の取扱量等が堅調に推移したことにより前年同期を上回りました。

その結果、営業収益は前年同期比6.2%増加の15,146百万円、セグメント利益は前年同期比13.5%増加の1,074百万円となりました。

②国際物流事業

国際物流事業においては、貨物の取扱いが前年同期に比べて減少したほか、海外現地法人の経営成績が低調に推移するなど営業収益は前年同期を下回り、セグメント利益についても前期に稼働した海外子会社の新設倉庫での経費が嵩むなどの要因により、前年同期を下回りました。

その結果、営業収益は前年同期比2.2%減少の2,202百万円、セグメント損失は52百万円（前年同期はセグメント利益38百万円）となりました。

なお、不動産の賃貸事業及び物流資材の販売事業並びに太陽光発電の売電事業等のその他事業は、営業収益は前年同期比6.7%減少の314百万円、セグメント利益は前年同期比2.3%減少の178百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、新規借入等による現金及び預金の増加、関東での新倉庫建設による建設仮勘定の増加等により、前連結会計年度末に比べ2,358百万円増加し30,694百万円となりました。

当第3四半期連結会計期間末の負債合計は、新規借入れにより短期借入金および長期借入金が増加したことにより前連結会計年度末に比べ2,542百万円増加の13,301百万円となり、また、当第3四半期連結会計期間末の純資産は、親会社株主に帰属する四半期純利益により利益剰余金は増加しましたが、株価の下落によりその他有価証券評価差額金が減少したほか、円高の影響により為替換算調整勘定および非支配株主持分が減少したことにより、前連結会計年度末に比べ183百万円減少の17,392百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想については、平成30年5月11日に公表しました業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,155,580	3,750,012
受取手形及び営業未収入金	3,560,661	3,704,550
その他	630,870	764,549
貸倒引当金	△362	△378
流動資産合計	7,346,750	8,218,734
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	7,665,455	7,842,498
機械装置及び運搬具(純額)	955,123	1,006,827
工具、器具及び備品(純額)	120,349	166,426
土地	6,191,929	6,140,249
リース資産(純額)	930,230	897,734
建設仮勘定	218,048	1,609,407
有形固定資産合計	16,081,138	17,663,144
無形固定資産		
港湾等施設利用権	1,897,534	1,897,534
その他	570,094	610,806
無形固定資産合計	2,467,628	2,508,341
投資その他の資産		
投資有価証券	1,187,905	1,008,693
長期貸付金	4,756	4,097
繰延税金資産	65,372	62,075
退職給付に係る資産	138,800	128,885
差入保証金	760,744	747,910
その他	285,993	356,095
貸倒引当金	△3,600	△3,600
投資その他の資産合計	2,439,973	2,304,157
固定資産合計	20,988,740	22,475,643
資産合計	28,335,491	30,694,378

（単位：千円）

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び営業未払金	1,681,321	1,750,531
短期借入金	992,100	2,412,010
リース債務	7,353	11,279
未払法人税等	324,826	28,677
賞与引当金	253,691	104,594
役員賞与引当金	2,700	900
その他	533,268	517,036
流動負債合計	3,795,261	4,825,027
固定負債		
長期借入金	5,614,158	6,723,345
リース債務	20,834	22,701
繰延税金負債	45,660	38,602
役員株式給付引当金	42,291	61,644
退職給付に係る負債	1,034,926	1,083,488
その他	205,729	546,636
固定負債合計	6,963,599	8,476,418
負債合計	10,758,861	13,301,446
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,108,000	2,108,000
資本剰余金	1,892,395	1,892,395
利益剰余金	12,627,273	12,797,187
自己株式	△582,859	△583,088
株主資本合計	16,044,809	16,214,495
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	338,117	210,727
為替換算調整勘定	64,117	△33,818
退職給付に係る調整累計額	66,010	54,573
その他の包括利益累計額合計	468,245	231,482
非支配株主持分	1,063,575	946,954
純資産合計	17,576,630	17,392,931
負債純資産合計	28,335,491	30,694,378

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年12月31日)
営業収益	16,804,335	17,637,223
営業原価	14,712,650	15,456,031
営業総利益	2,091,684	2,181,192
販売費及び一般管理費	1,583,085	1,610,444
営業利益	508,599	570,748
営業外収益		
受取利息	12,387	6,814
受取配当金	83,344	25,291
不動産賃貸料	10,629	10,932
その他	10,987	13,777
営業外収益合計	117,349	56,816
営業外費用		
支払利息	38,661	39,601
為替差損	5,737	—
その他	3,685	—
営業外費用合計	48,083	39,601
経常利益	577,864	587,964
特別利益		
固定資産売却益	16,483	3,505
投資有価証券売却益	408,450	—
特別利益合計	424,933	3,505
特別損失		
固定資産売却損	6	5,881
固定資産除却損	3,084	555
災害による損失	—	128,068
役員退職慰労金	—	2,217
100周年記念費用	—	22,704
特別損失合計	3,091	159,428
税金等調整前四半期純利益	999,707	432,041
法人税、住民税及び事業税	297,380	132,143
法人税等調整額	27,683	61,034
法人税等合計	325,064	193,177
四半期純利益	674,642	238,864
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△1,057	△38,918
親会社株主に帰属する四半期純利益	675,699	277,782

(四半期連結包括利益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年12月31日)
四半期純利益	674,642	238,864
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	110,894	△127,390
為替換算調整勘定	△19,284	△175,780
退職給付に係る調整額	7,645	△11,295
その他の包括利益合計	99,255	△314,466
四半期包括利益	773,897	△75,602
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	766,028	41,019
非支配株主に係る四半期包括利益	7,869	△116,621

（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（追加情報）

（「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用）

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」（企業会計基準第28号 平成30年2月16日）等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年12月31日)

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	国内物流	国際物流	計				
営業収益							
外部顧客への営業収益	14,256,800	2,252,750	16,509,551	294,784	16,804,335	—	16,804,335
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	41,892	41,892	△41,892	—
計	14,256,800	2,252,750	16,509,551	336,676	16,846,228	△41,892	16,804,335
セグメント利益	946,695	38,940	985,636	183,046	1,168,682	△660,083	508,599

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、太陽光発電による売電事業、不動産の賃貸事業及び物流資材の販売事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△660,083千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△653,171千円及びその他の調整額△6,911千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成30年4月1日至平成30年12月31日)

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	国内物流	国際物流	計				
営業収益							
外部顧客への営業収益	15,146,959	2,202,739	17,349,699	287,524	17,637,223	—	17,637,223
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	26,537	26,537	△26,537	—
計	15,146,959	2,202,739	17,349,699	314,062	17,663,761	△26,537	17,637,223
セグメント利益又は損失(△)	1,074,942	△52,265	1,022,676	178,779	1,201,455	△630,707	570,748

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、太陽光発電による売電事業、不動産の賃貸事業及び物流資材の販売事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失の調整額△630,707千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△623,616千円及びその他の調整額△7,090千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。